

## 3-1 大学教育観

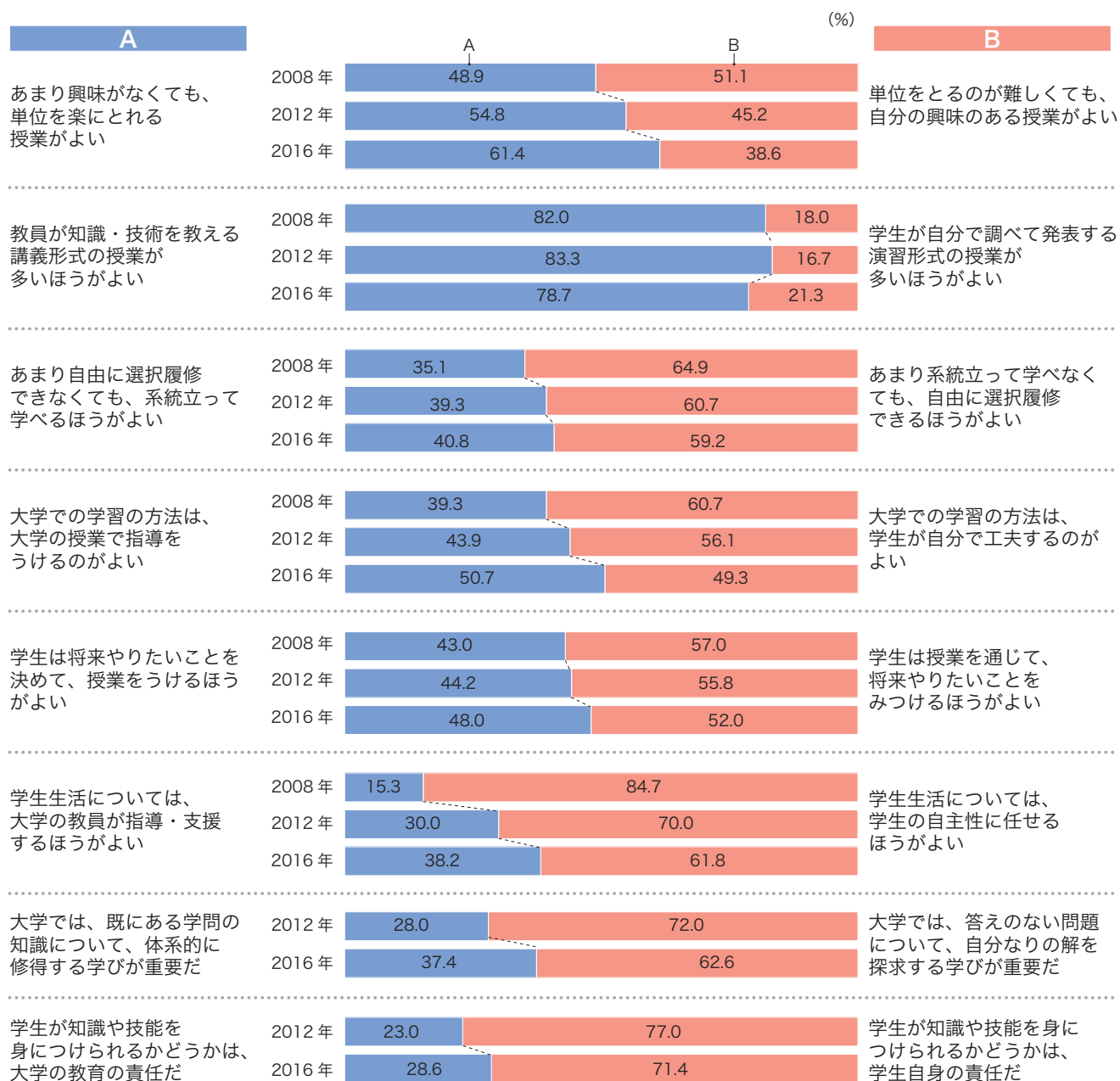
### 大学に指導や支援を求める意見が、8年間で増加。

この8年間で、学習方法を「自分で工夫」するよりも「大学の指導」を受けたいと考える学生が11.4ポイント、学生生活について「学生の自主性に任せる」よりも「教員の指導・支援」を受けたいと考える学生が22.9ポイント増加しており、大学に指導を求める声が大きくなっている。また、「単位取得が難しくても興味のある授業」よりも「あまり興味がなくても楽に単位を取得できる授業」をよいと考える学生が12.5ポイント増加しており、授業や学びに対する考えにも変化がみられる。

Q

大学教育について、あなたは次にあげるA、Bのどちらの考え方に近いですか。

図3-1 大学教育観



注) 全11項目のうち、他年度と比較して変化の少なかった3項目を除く、8項目を抜粋して表示。

## 3-2 学びの機会

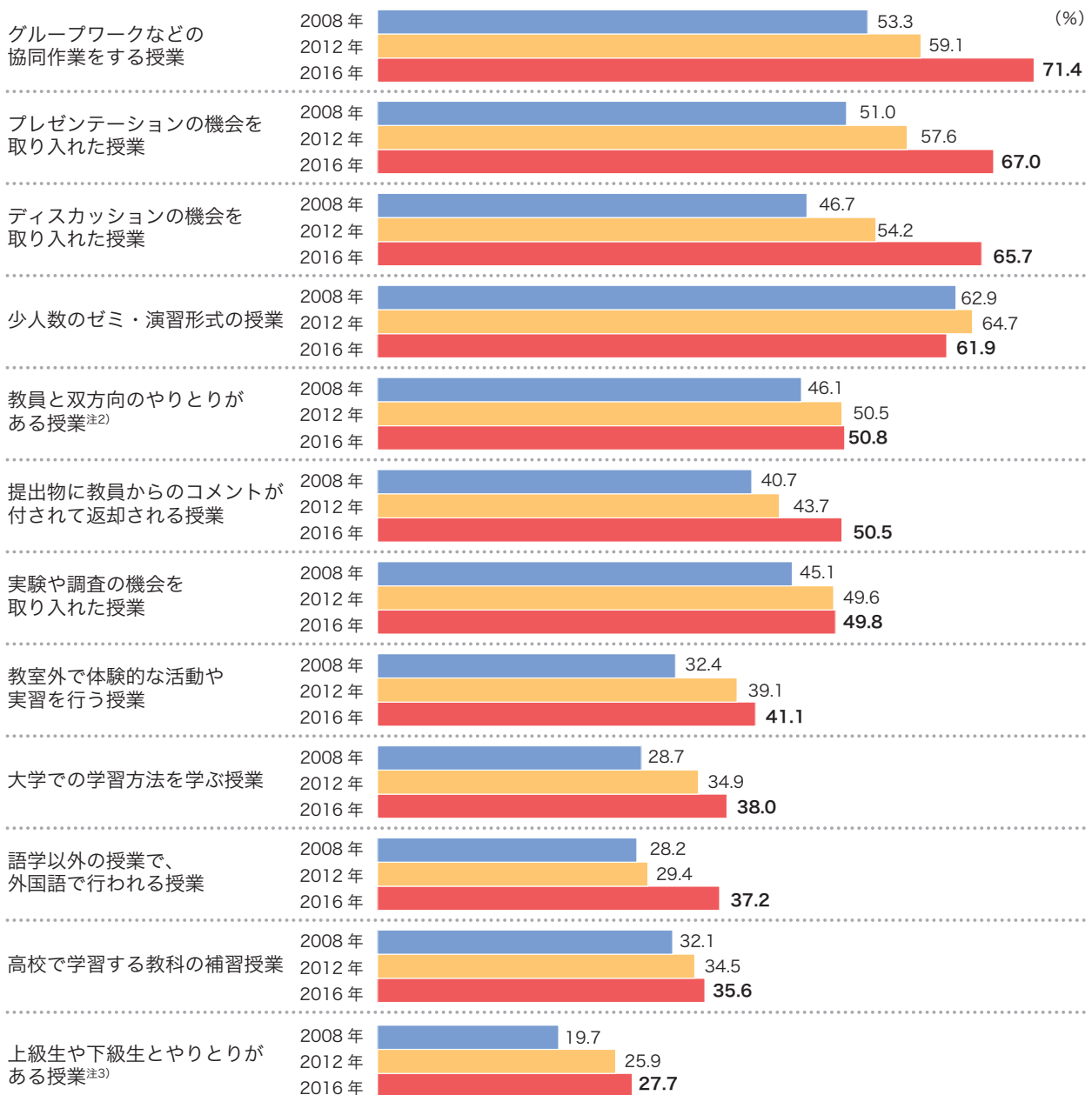
グループワークやプレゼンテーション、ディスカッションを取り入れた授業が、8年間で大きく増加。

この8年間で、「グループワークなどの協同作業をする授業(よく+ある程度あった)」と回答した比率は18.1ポイント、「プレゼンテーションの機会を取り入れた授業(同)」は16.0ポイント、「ディスカッションの機会を取り入れた授業(同)」は19.0ポイント増加し、いずれも約7割の学生が経験している。8年間で、アクティブ・ラーニング型の授業を経験する機会が増えていることがわかる。

Q

あなたはこれまで大学で、次のような授業を経験しましたか。

図3-2 学びの機会



注1) 「よく+ある程度あった」の%。

注2) 2008年、2012年は、「教員と学生が授業時間内にコミュニケーション(議論・質問・対話など)がとれる授業」とたずねた項目と比較した。

注3) 2008年、2012年は、「上級生と下級生が授業時間内にコミュニケーション(議論・質問・対話など)がとれる授業」とたずねた項目と比較した。

注4) 全15項目のうち、他年度と比較可能な12項目を抜粋して表示。

### 3-3 学びに対する姿勢・態度

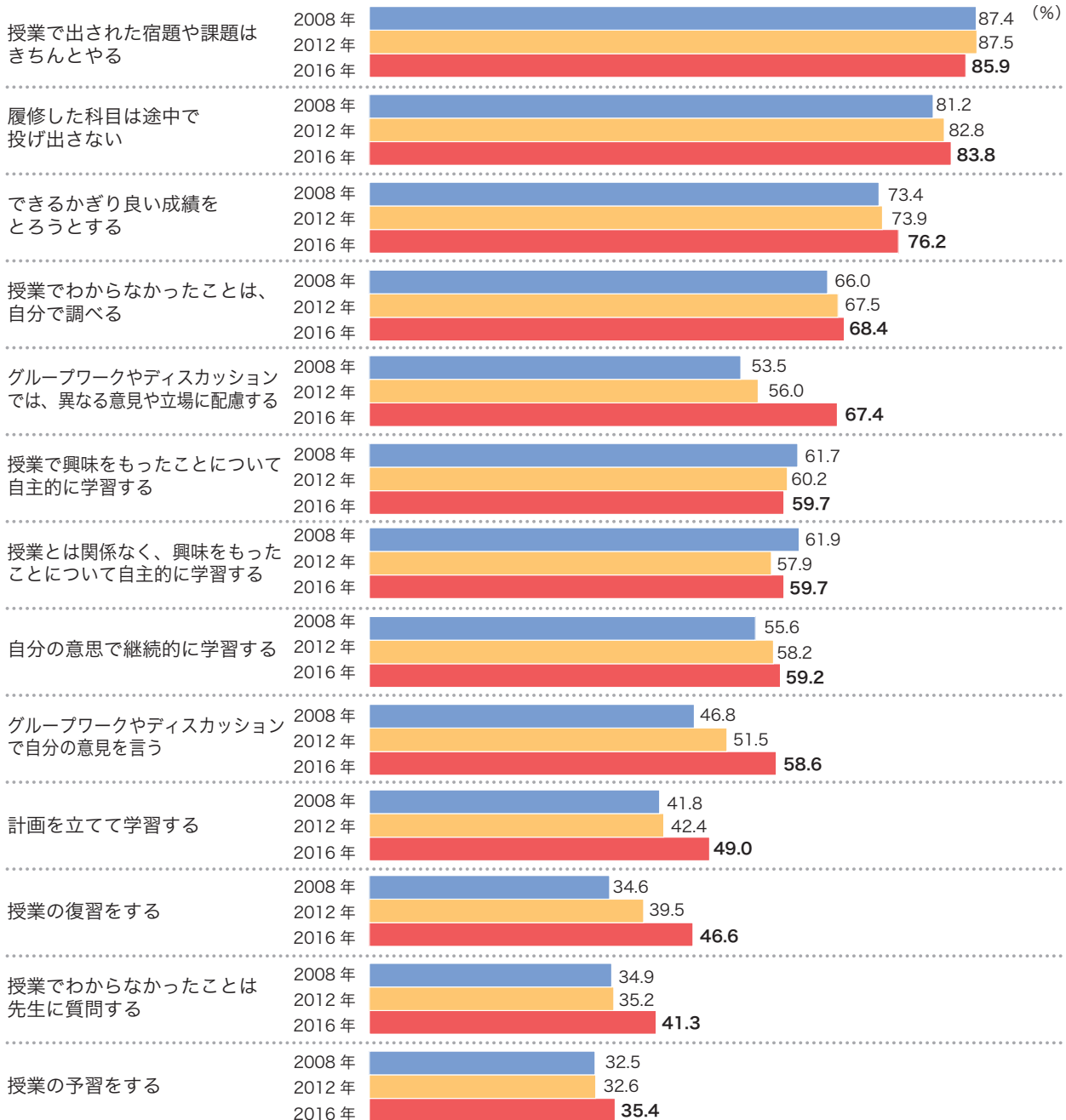
#### グループワークやディスカッションで、意見を主張する学生が増加。

2012年から2016年にかけての4年間で「グループワークやディスカッションでは、異なる意見や立場に配慮する(とても+まああてはまる)」11.4ポイント、「グループワークやディスカッションで自分の意見を言う(同)」7.1ポイント、「授業の復習をする(同)」7.1ポイント、「計画を立てて学習する(同)」6.6ポイント、「授業でわからなかったことは先生に質問する(同)」6.1ポイントの増加がみられた。大学の授業や高校時代の授業経験の変化が、学生の学習態度にも影響しているようだ。

Q

あなたは大学での授業に、ふだんからどのように取り組んでいますか。

図3-3 授業への取り組み



注)「とても+まああてはまる」の%。

## 3-4 大学生活で身についたこと

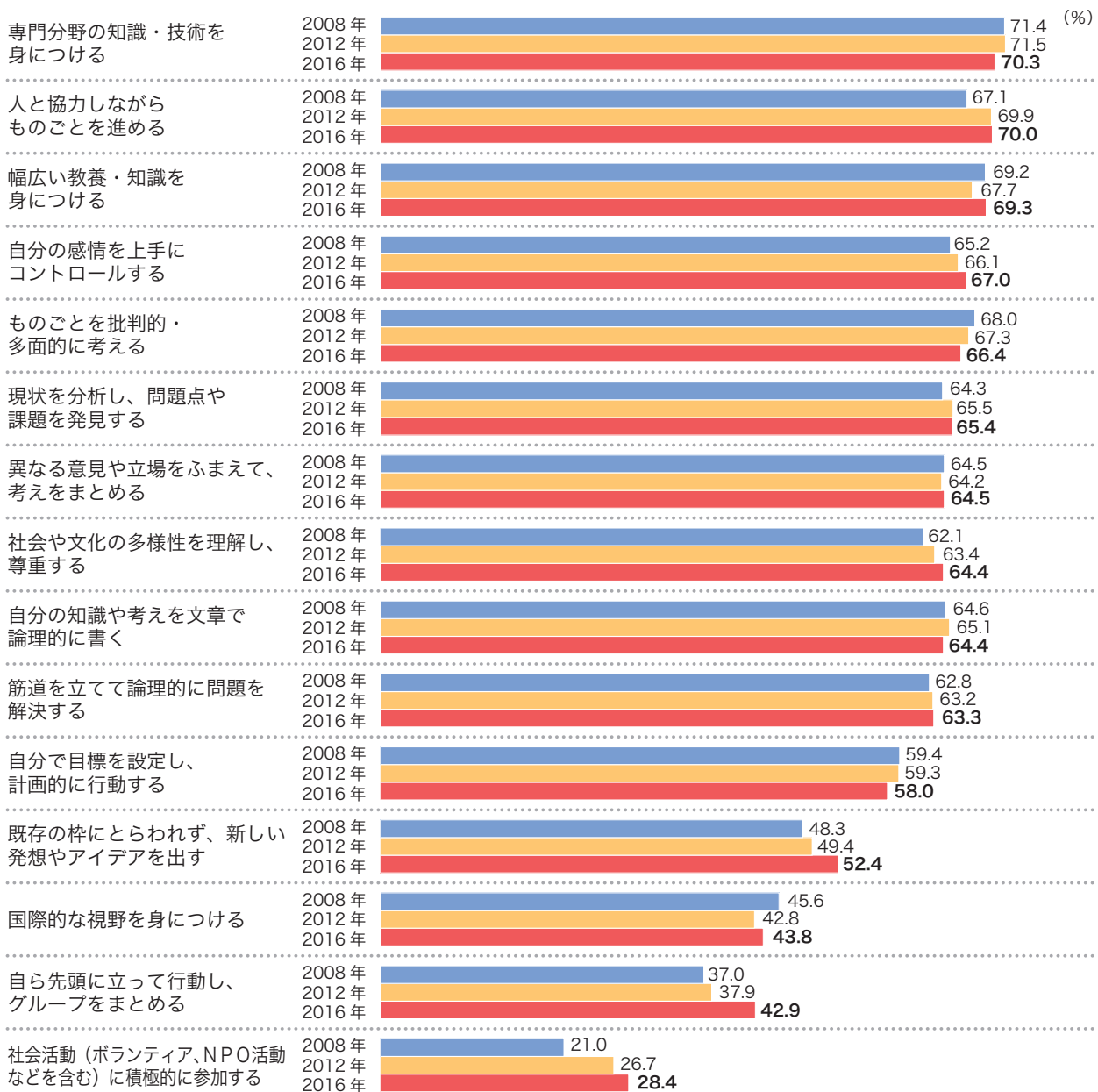
### スキルや能力の自己評価は、8年間でほとんど変化がない。

大学生活を通して身についたこと(自己評価)をみると、8年間変わらず、専門知識の習得、協力しながらものごとを進める力への評価が高く、思考力、自己管理能力は中程度、国際的な視野や語学力、リーダーシップ、社会活動参加が低い。自己評価が低い項目の中での変化ではあるが、8年前と比べ、「自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる(かなり+ある程度身についた)」が5.9ポイント、「社会活動に積極的に参加する(同)」が7.4ポイントの増加がみられた。

Q

あなたは次のようなことについて、大学生活全体を通じてどの程度身についたと思いますか。

図3-4 大学生活を通して身についたこと



注1) 「かなり+ある程度身についた」の%。

注2) 全22項目のうち、他年度と比較可能な15項目を抜粋して表示。

## 3-5 転学意向・履修状況・評価方法

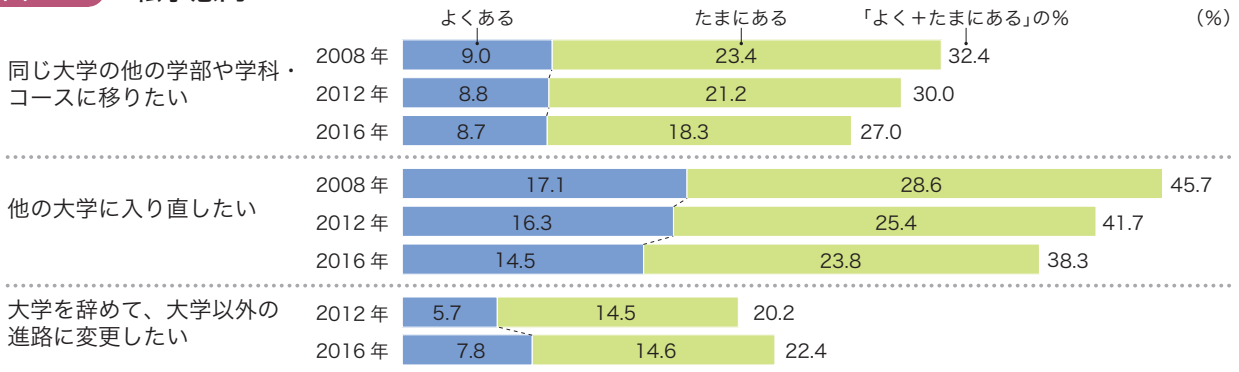
転部や転学を考える学生は、8年間で減少傾向。

転部や転学など進路変更の意向をみると、この8年間で「他の学部や学科・コースに移りたい(よく+たまにある)」は5.4ポイント、「他の大学に入り直したい(同)」は7.4ポイント減少している。とはいえ依然として、転学したいと考えることのある学生は約4割、大学進学以外の進路に変更したいと考えることのある学生は約2割いる。履修科目数や総取得単位数(4年生のみ)が多いのは、1、2年生のときである。



あなたは現在の大学生活の中で、次のように思うことはありますか。

図3-5 転学意向

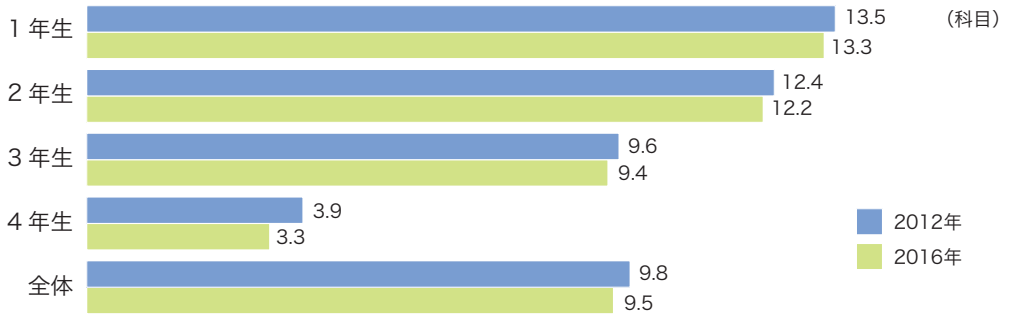


注)全5項目中、他年度と比較可能な3項目を抜粋して表示。



あなたは今学期いくつ科目を履修していますか。

図3-6 履修科目数(平均)



注1) 集中講義は除きます。  
 注2) 2012年 1年生 n=1,184、2年生 n=1,184、3年生 n=1,203、4年生 n=1,229、全体 n=4,800。  
 2016年 1年生 n=1,164、2年生 n=1,184、3年生 n=1,207、4年生 n=1,223、全体 n=4,778。



あなたが入学してから今年の前期までに習得した総単位数を教えてください。(各学年ごとに回答)

表3-1 調査時点までの単位習得数(平均)

	2016年
1年生のとき	41.6
2年生のとき	40.4
3年生のとき	34.7
今年度前期	8.4

注)大学4年生 n=1,216 のデータのみ分析。



あなたの大学での成績の評価方法として、あてはまるものをお選びください。どちらも併用している場合は両方を選択してください。

表3-2 大学の評価方法

	2008年	2012年	2016年
秀・優・良・可 (A・B・C・D)	82.2	76.4	54.7
優・良・可 (A・B・C)			20.3
GPA	37.2	56.2	59.9

注) 2008年、2012年は、「優・良・可(A・B・C)」、「GPA」の2つの選択肢でたずね、「秀・優・良・可(A・B・C・D)」の場合は、「優・良・可(A・B・C)」を選択するように案内した。